

SFJ社長、東京外大で講演

ヘッドハンターの目線伝授

人材サービスのサーチファームジャパン（SFJ、東京都千代田区）の武元康明社長＝写真＝は20日、東京外国語大学府中キャンパス（東京都府中市）で「21世紀はヤジロベエ」と題した講演を行う。同大が企画した催しで一般にも公開する。入場料は無料。

ヤジロベエとは、社会を生き抜くために必要となる人格的なしなやかさや強靱さの根源となる、心的能力を示す概念。18年間にわたって人材育成に携わってきた武元氏が、ヤジロベエ的な力を活用してグローバルに活躍できる職業人になるためには大学で何を学ぶべきか、といった点を伝授する。

具体的には「ヘッドハンターは、あなたのどこを見ているのか」や「心をどうやってみるか、感じるか～人物（人格・人間性、常識性）を探る～」 「評



価されるヒト～それは企業も同じ～」「日本の経営を取り巻く環境」などのテーマについて、さまざまな事例を引き合いにしながら、実社会で成功するための秘訣を明らかにする。

武元氏は、日系と外資系の航空会社を経て、大手総合商社系の人材ビジネス会社に転身。トップヘッドハンターとして知られ、人材育成に関する研究も行っている。